



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	矢内, 純吉; 辻野, 守典; 福住, 弘雄 他
Citation	makoto. 1991, 73, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/85958">https://doi.org/10.18910/85958</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 新年のごあいさつ



大阪府環境保健部長

矢 内 純 吉

新年あけましておめでとうございます。

平成3年のすがすがしい新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

旧年中は大阪防疫協会におかれましては、本府の環境保健行政の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本府におきましては、「定住時代にふさわしい大阪」、「地球時代にふさわしい大阪」を基本理念として、魅力にあふれた国際都市大阪の建設を進めております。私ども環境保健部におきましても、安全で快適な人間環境の確保を図るとともに、府民の生涯にわたる健康の確保のため、健康・体力づくりから疾病の予防・治療・リハビリテーションに至る総合的な保健・医療の充実を図るなど、ゆとりとうるおいのある社会の現実に向け、関係施策の推進を図って参りたいと考えております。

具体的の施策と致しましては、昨今、地球的規模で深刻化している環境問題につきましては、長期的視野に立った監視、調査、研究に努めますとともに、資源リサイクルの推進等を図って参ります。また、ノーマイカーデーの実施をはじめ、毎年6月を「環境月間」と定め、多彩な行事を展開するなど、大気汚染・水質汚濁・騒音等各種公害の防止対策を総合的に推進し、健康的で快適な都市環境の創造に努めて参ります。また、ライフサイクルの変化に伴う府民の保健・福祉・医療にまたがる複合的ニーズに対応するため、総合的地域ケアシステムの構築をすすめるとともに、保健・福祉に関する情報システムの構築、「ハートプラン21」による健康学習の推進など、府民の健康づくりを進めて参ります。

関西国際空港の建設をインパクトに、21世紀を展望した大阪づくりを進めるにあたり、府民の皆様方の積極的なご協力と、貴協会の一層のご理解、ご支援をお願いする次第でございます。

最後になりましたが、貴協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、新年のごあいさつといたします。

# 謹 賀 新 年



財団法人大阪防疫協会

理事長 辻 野 守 典

新年明けましておめでとうございます。旧年中は何かと御指導、御鞭撻賜り、厚く御礼申し上げますと共に、本年もよろしく御指導賜りますよう御願い申し上げます。

さて、EXPO'90（自然と人間の共生）は記録的猛暑の中で盛会のうちに閉幕しました。夏のさなか、毎日早朝よりシャー、シャーとセミの大合唱、今日も一日暑いのかと思うと少々うんざりしていました。セミといえば、「今、セミが殻から出かかっているから」と近所の世話好きなおばさんに誘われて、セミの羽化の観察に、子供と一緒に出かけた日の感動がよみがえって来ます。

昨今、都市の夏はセミの天下？セミが増えこそそれ減ったとはとても考えにくい、というのが都市住民の実感でしょう。

都市の環境変化にうまく順応しわが世の春、いや夏を謳歌しているようにも思える「ミンミンゼミ」や「クマゼミ」、それに比べて「ハルゼミ」は、マツ林の減少によって、種の絶滅の危機にひんじていると言われています。また宅地化により雑木林が減少すれば、まず、「ヒグラシ」が姿を消すとか。

最近「環境指標」という言葉を散見するようになつてきました。「環境指標」として、セミの中では「ハルゼミ」と「ヒグラシ」があげられているようですが、「トンボ」こそ「環境指標」だと言う人もいます。自然環境の変化はつぎつぎと身の回りの生物を消して（人類が自ら栄えた代償として）ゆきました。「トンボ」も都市では殆ど見かけなくなつて久しいものがあります。あちらこちらでトンボ王国という言葉を聞きますが、トンボが観光の目玉になるとは隔世の感があります。「セミ」が夏「やかましい」と言ってみても、「セミ」も鳴かない夏を想像するとぞつとして来ます。

# 新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

福住 弘雄

新年あけましておめでとうございます。

平成3年の新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈りいたします。

平素は、本市の環境保健行政に格別なご協力を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

さて、世界にひらく大阪の願いをこめて、昨年4月から開催された「国際花と緑の博覧会」も、当初の予想をはるかに上回る2,300万人を越えるお客様をお迎えして、成功裡に閉幕いたしました。暖かいご支援、ご協力をいただきました皆様方に心からお礼申しあげます。

本市では、この博覧会を単なる一過性のイベントで終らすことなく、その理念を今後のまちづくりに引き継ぎ、市民の皆様にもいっそう関心をもっていただるために、「大阪咲かそ」キャンペーンを展開してまいります。

さらに、21世紀に向かって、健康で豊かな都市生活が送れる快適で魅力あるまち、また世界に貢献する大阪の実現をめざして、昨年10月に新総合計画を策定いたしましたが、これに基づき、各種事業を積極的に推進してまいります。

こうした事業を推進するうえで、快適な環境づくりは、都市整備の基盤となるものであり、その一端を担う環境保健行政は、重要かつ基本をなすものと考えております。

そのためには、専門的知識と技術をもって着実な実績をおさめられている貴協会のご協力を得ることにより、はじめて公衆衛生の向上が達成されるわけでありまして、皆様のお力添えに大きく期待しているところであります。

最後に、財団法人大阪防疫協会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝をお祈り申しあげまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 新年のごあいさつ



堺市環境保健局

衛生部長 大保 雅嘉

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。併せて、旧年中は何かとご指導賜り厚くお礼申し上げます。

毎年元旦には、旧知の人からついこの前初めてお目にかかった人まで多くの方々から年賀状をいただく。やはり今年の干支にちなんだ羊の図案をあしらったものが多くある。いずれの羊も穏やかでぬくぬくとした表情をしているのが楽しい。

さて、羊といえば毛織物、日本書紀にも中国から毛織物が送られてきた記述があり、太古から防寒の衣服として貴重なものであった。その後わが国でも羊の飼育が試みられたようであるが、初めて原毛から毛織物が織られたのは、江戸時代の後期になる。かの有名な平賀源内が飼育した羊から原毛をとり織ったといわれている。

ところで、現在の日本はというと、世界で屈指の羊毛の消費国である。国内で飼育されている羊は約3万2千頭、いずれも、あえなく成吉思汗料理になる。衣料品となる羊毛の100パーセントを持ち前の経済力で輸入している。衣料用の羊の代表種といえばメリノ種であり、1頭から3~5キログラムの原毛が得られ、この原毛からおよそ背広1着と薄手のセーター1枚ができる。厚手のオーバーコートの場合には約1頭分が必要ということである。ちょうど私の真冬の出で立ちは、メリノ羊2頭を身にまとっていることになる。

あれほど貴重であった毛織物の衣料も今ではどの家庭でも流行遅れになったなどの理由で着ることもなく数知れしまい込まれていることであろう。我が家も例にもれない。眠れない夜は、豊かさゆえの過剰な消費への反省と世界中の羊たちへの感謝をこめて、タンスや押し入れに眠っている我が家の中たちを数えてみるのはいかがか。

『羊が一匹…羊が二匹…羊が三匹……』

最後になりましたが、関係各位にウールのごとく温かい倍旧のご支援をお願いするとともに、貴協会の益々のご発展をお祈りして新年のご挨拶といたします。

# 新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

中 西 喜代治

平成3年の年頭にあたり謹んで新春の御祝辞を申し上げます。

昨年中は本市の保健衛生行政の推進に多大の御支援を賜り、まことにありがとうございました。

私は昨年4月団らすも保健衛生部長を拝命し、52万東大阪市民の、文字通り「振り籠から墓場まで」にわたる、幅広い行政分野を担当させて戴くことになりましたが、近年、我国において急激に進行しつつある人口構成の高齢化の趨勢を踏まえながら、市民一人一人が毎日を健康、かつ快適に過すことが出来るよう、関係各位の御協力を得て与えられた職責を全うすべく、年頭に際し決意を新たにしているところでございます。

本年は、昨年策定された東大阪市総合計画に基く新基本計画の初年度であり、「健康で生きがいを感じる街」の創造を目指したスタートの年であります。

本市においては、市民の皆様方に対し、健康づくりへの正しい認識を深めていただくとともに、主体的、かつ積極的な取り組みを促進するため、毎年「健康展」を開催する等、指導啓発に努めているところですが、今後とも保健所を中心とした健康に関する情報の提供や、相談窓口の整備充実を図る等、市民の自主的な健康づくりの推進に努めてまいる所存でございます。

貴協会におかれても何卒倍旧の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終りに臨み、貴協会の一層の御発展と会員各位の御多幸を祈念して御挨拶といたします。

# 新年のごあいさつ



阪急電鉄株式会社

鉄道本部 運輸部 管理課長

角 道 正 士

新年あけましておめでとうございます。

平素は当社の駅・車両の美化に御尽力頂きありがとうございます。

昨年は春3月から地元大阪の鶴見緑地で「人間と自然の共生」をテーマに国際花と緑の博覧会が開催され、諸外国及び全国各地から予想を上回る2,300万人の入場者を記録し、成功裡に終りました。

また11月には今上天皇の即位の礼が厳粛に執り行われ、国民一同昭和から平成の世への移り変わりを体感いたしました。

目を関西に向けますと、関西国際空港の建設を始めとした学研都市整備や明石海峡大橋建設などのビッグプロジェクトが種々の問題を克服しつつ進行しています。またこれから的情報化及び国際化社会にむけて、テクノポート大阪計画や神戸レジャーワールド構想・りんくうタウン建設・フェニックス計画など大阪港ベイエリアの総合的な開発整備も進められています。

このように21世紀にむけてインフラの整備が進んでいく一方、人々の欲求は個別化・多様化の傾向をますます強めています。

ご乗客の皆様の私共の駅や車両の美化についてのご要望も今後ますます高度なものとなるに違いありません。

営業中の美化作業については従前以上のきめ細かな配慮が要求されることでしょう。

当社は昨年11月にCIを実施し、社内外に「経営理念」「経営方針」を宣言致しましたが、経営方針の第一に「Marketing Spirit」すなわち「私たちはお客様が真に望まれるものを追求し、最良のサービスを提供します」とあります。皆さんと力を合わせてご乗客が満足されるよう努力致したく、皆様のご協力よろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と貴協会のますますのご発展をお祈りして新年のご挨拶とさせて頂きます。

## 新年のごあいさつ



南海電気鉄道株式会社

鉄道事業本部 運輸部 運転指令長

花 田 昂 洋

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましても、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

平素より何かと皆様方には大変お世話になり、心からお礼申しあげます。

私達運転指令員は、常に安全にして正確な列車運行に努めているわけですが、お客様が、輸送機関を選択する時代、特に関西国際空港が開港いたしますと、JRを始めとしてバス、船等々多種多様な輸送機関と競合していくかなければなりません。

安全にして正確、そしてより速く目的地へお客様をお送りすることが、鉄道の基本的なサービスであります、お客様にとってこれは当然のこと、あたりまえのこととなっていますので、よりグレードの高いサービス、快適な環境を提供しなければなりません。

駅施設、車両等の設備面での充実もさることながら、究極的には人によるサービス、お客様に接する態度、身だしなみ、言葉づかいが左右するものと考えます。

したがってひとりでも多くのお客様が、南海電車をご愛用いただけるよう、あらゆる機会を通じて接遇技能の向上に取組んでいるところであります。さらに、きれいで清潔な駅、車内にご乗車していただくよう、雰囲気の良い環境作りに努めているところであります。

接遇と環境の整備が、お客様を大切にする決め手であると考えますので、貴協会の皆様方におかれましても、なお一層のご尽力、ご協力をお願いするものであります。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝、ご多幸をお祈りして、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



関西テレビ放送株式会社

総務局施設管理部長

井之川 忠一

謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

新春を迎え皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申しあげます。

さて、昨年を振り返りますと、東欧各国の大きな変革により、東西の冷戦は一応終結しました。しかし東欧各国は経済の遅れ、民族問題等多くの問題を抱えています。その中にあって、東西両ドイツは28年間に亘って隔ててきた「ベルリンの壁」を取り払い統一国家となりました。極めて劇的な出来事でした。一方、中東ではイラクがクウェートに進攻し、人質問題や石油危機を招いています。この石油危機により、4年以上続いた日本の好景気にも陰りが見え始めています。これ迄、二度の石油ショックは我が国の石油依存型エネルギー政策に大きな反省を与える契機になりました。しかし「暁元過ぐれば……」日本経済はその後も益々巨大化しています。一般家庭でも自家用車はどんどん大型化、高級化しています。一軒に2台3台と自家用車を持つ家庭が増加しており、これらによるエネルギーの大量消費はNO<sub>x</sub>やCO<sub>2</sub>の増加を招き、地球の温暖化や酸性雨等環境公害の原因となっています。21世紀まであと10年、先進国は省エネに努め、これ以上の地球環境の悪化を防止し、21世紀に向けて住みよい地球を引き継いでいかなければならぬと思います。

ところで本業のテレビ放送の方は、ここ数年、衛星放送の受信機が大巾に増加し、既に300万台以上設置されています。今春4月から新たに民間の日本衛星放送が本放送を開始します。我々既存の民間テレビ局には新しいライバルが加わるわけですが、当関西テレビ放送では今迄以上に楽しく、役に立つ番組を皆様にお送りするよう努力してまいります。今年もよろしくお願い申し上げます。

最後に貴協会のご繁栄と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。